

アンケート(第3回) 集計

--武田薬品との第3回住民対話(4/19)を終えて--

武田問題対策連絡会

質問 1 新研究所の進出について、今のあなたのお気持ちに最も近いのはどれですか？ にチェックを入れてください。(複数回答可以下同じ)

<回答者計60人の内>

		人
イ	不安はない-----	10 [17 %]
理由	武田は信用できる会社であり、間違いをおこすとは思われないから。-----	9
	その他の理由-----	4
	厚生労働省、自治体などのチェックを信頼している。	
	市町村のバランスある発展に誘致は必要。	
	現在の技術の最新のものをもって対応していると思われるから。	
	武田社は日本のリーディングカンパニーとして、またゴーイングコンサーンを目的とする企業であることを考えると、将来的な公害等の発生するリスクは、周辺住民は勿論だが当社自身も当事者として負っていると考えます。無責任な計画を行っているという指摘は必ずしも的を得ていると言えるのでしょうか。	
ロ	不安は多少あるが、受容すべきだ。-----	13 [22 %]
理由	武田は日本の法例を遵守すると云っているから。-----	8
	武田は日本の法例を遵守のみならず、WHO基準の遵守など世界的にみてもリスクを最小限にする経営上また技術的努力をする筈だから。-----	10
	武田は安全確保にかかる条例制定、住民の意向を受けた安全協定締結に協力的と思うから。-----	7
	その他の理由-----	4
	武田の法例以上の努力を期待する。	
	安全性についての武田側の詳細回答の受領を前提として、受容する。	
	「一流」の企業なので、何か問題があれば責任をとってくれるのではないか。社会的立場を考えるとある程度信用しても良いのではないか。	
	法令を越えるセーフティネットを求めるのは、感情的には理解できるけれど、一方で医薬研究を通じた社会貢献の基点が、あるいは地域経済に好影響を与える企業が地元にあることは、よろこぶべき点多い。	

八	不安は、全然解消されていない。-----	37	[62 %]
理由	武田の説明は肝心のところで具体性を欠き、我々が不安を払拭する最小限の手掛かりすら与えない -----	27	
	武田の今までの対応は、不誠実で、スローガンの「タケダイズム (= 誠実)」を反映したものでなく、今後それが改まるとは考えられないから。 -----	19	
	我々の不安を解消するため、武田側が完全に説明しきることは、所詮不可能で、武田自身もそれを完璧にやり得る自信がないと思われるから。 -----	18	
	その他の理由 -----	10	
	不安が残るようなものは、絶対駄目!!		
	地域住民の声をまったく聞き入れない工事はするべきではない。		
	疑問点はかなりある。武田側も社運をかけている面もありそうで、この地に世界にみせる施設をつくる意図が感じられる。しかし、300メートル以内に住む人にとっては、安全が確保されるかが、最大のポイント。 気象的な環境変化は、最も起こりうる様に感じる。そのほか、30年以内に70%と云われる大震災に対する構えなどは、もっときちんとすべき。 武田は、松沢知事を含めた行政側の80億円を使っての誘致を絶対的なものとし、それにあぐらをかいている感がぬぐえない。基本的には我々住民が甘くみられているのではないか。		
	「今まで大丈夫だったから問題ない」という武田の説明で、不安が一層大きくなった。そのような考え方では、現実におこる事故を未然に防ぐことはできないとおもいます。同趣旨--他に2通		
	今回の対話集会で不安が増大した。事故がおきたときの具体的アクション・プランが見えない。		
	はじめて聞きにきたが、おどろいた。武田はろくに質問に答えていないので、安全管理面で不安を感じた。これでは武田の薬は避けたい。避けたほうがよい。安全管理も出来なくて開発ができるのか？		
	集会における武田の答弁で、ますます進出を止めさせたいとおもいました。企業サイドの見方ばかりで、住民に対する配慮がない!		
	第1回から対話集会に参加していますが、武田側の説明はわかりずらく、結局、法令遵守の一言を一步も出ていないのではないのでしょうか。同趣旨--他に2通		
	(感想) 法律遵守はあたりまえです。それは、質問の回答ではありえませんが、このプロジェクトのこわさは、大気への強制排気量の大きすぎ、同伴の水分量の多さ、排出口数の多さ、このような施設はどこにありますか。洗濯物を外に干せなくなりませんか。 2つ目の心配はP3に関するリスクです。安全側をただ強調するのではなく、事故が起きた場合を想像して、対応策を考えておくことがリスクマネジメントのほうです。武田さんにはとてもそのような姿勢がみられません。リスクマネジメントさえしっかりやっていたら、水俣病やチェルノブイリなど人類の不幸は起きなかったはず。同趣旨--他に2通		
	英文資料の訳し方についてすら武田と住民側との間で考え方に違いがあることがわかった。安全にかかわるについては、住民側の考えをまず基本としてほしい。		

質問2 新研究所の建設について

<回答者計62人の内>
人

イ 武田の計画通り、4月の建築着工を認めてよい。 ----- 21 [34 %]

理由

武田は信用できる会社だから。 ----- 17

松沢県知事が誘致し、海老根藤沢市長もその方向での努力を就任時の施政方針演説で言明しているから。 ----- 19

県の環境アセス審査が終了しているから。 ----- 18

その他の理由 ----- 2

一定のプロセスに沿って進めているから。

早期に完成し良い薬を出来るだけ早く世に送り出し、人々の健康と生命に貢献してほしい。

人

ロ 建設着工は延期・凍結すべきである。 ----- 7 [11 %]

理由

武田側が安全の立証についてその責任を十分果たし、住民の不安感を払拭するまで。 ----- 4

申立中の公害等調整委員会における調停が成立するまで。 ----- 0

その他の理由 ----- 4

周辺住民に不安が残っている限り絶対建設着工すべきでない。武田は、着工までに、すべての不安を取除くべきだ。武田が流す下水については、抜き打ちで検査できるような形にするべきだ。

公共下水道への排水の問題でも疑点があることがわかった。従来の東海道線下の神戸製鋼下～柏尾川への排水路はどうなるのか？ 一部歩道としても使用されているが危険はないか？ 現在の歩道は狭く不具合あり。

4月着工については、具体的な説明が不足しているようにおもう。

現状の武田の態度では、着工凍結を要求すべきとおもうが、住民側も継続審議の姿勢はもつべき。

ハ 武田は当地への進出を諦め、建設計画を撤回すべき ----- 34 [55 %]

理由

本プロジェクトは、「大気汚染」、「水質汚濁」、「悪臭」などの典型的な公害を伴い、住民に多大の迷惑をかけるから。 ----- 28

上記に加え、病原体漏出の「現実的可能性」を否定することは不可能であり、それは住民の「受容」の限度を遥かに超えるので。 ----- 26

当地は大病院にもろに隣接、感染抵抗力の弱い小中学校、老人ホームが集中している人口稠密地であり、研究所立地としては最悪の立地であるから。 ----- 24

当地の周辺は丘が多くみられる地形で、そのため大気温度の逆転が起きやすく、研究所の大量の排気が長く周辺住居地域に滞留し続ける可能性を否定できないから。 ----- 20

その他の理由 ----- 17

とにかく、建設計画を撤回すべき。

進出について、住民の真の納得が得られていない。

とにかく、武田の説明を聞く限り、安全性問題に100%を期しての対応をしていない。とくにHEPAフィルターやオートクレーブの安全性についてはまだ疑問がのこる。大気、下水の危険性についての予防策はまだ出ていない。武田の安全管理はあまい。！ 同趣旨--他に2通

住宅地の密集する中で研究所を建てることは、非常に危険である。水と空気の安全はどうなってしまうのか。湘南の海も汚れたものになる。

武田に地震対策をきくと震度7に建物が耐えられるという答えが返ってくるが、問題は建物自体は壊れなくても、より脆弱なフィルター、天井の排気塔、排水用配管また壁の亀裂への影響である。これらの脆弱部分がやられれば、たちまちにして細菌毒ガスが散布されることなる。この点について武田は正しく認識していないように見受けられ、今まで納得的な説明がなく、このままでは進出を認めるわけにはいかない。 同趣旨--他に2通

武田は、法令・協定を遵守すると云っていながら、重大な協定違反があることがわかった。武田が守るべき点についての情報を、住民に対してもっとオープンにすべきだ。それをしなければ、スローガンばかりで、裏で何をやっているのかわからない企業ということになってしまう。 同趣旨--他に3通

武田薬品が不誠実で全く信用できない会社であることがわかったので、絶対研究所には来てほしくありません。 同趣旨--他に2通

市役所の本件に対する対応は全く無責任だ。県知事、市長が環境アセス審査が始まらない前から政治的に誘致を早々と決めたとしても、市役所職員は住民の安全を守る見地から、厳密なチェック体制で臨むのは当たり前ではないだろうか。いままでの市議会における職員の答弁をみる限りその方向で努力している形跡がない。議員の不勉強もさることながら、武田の言い分を鵜呑みの上、なんの根拠もなく武田がやるからよかるう的な答弁が多すぎる。このような状況のもとでの武田進出には、絶対反対である。 同趣旨--他に2通

新薬開発が必要なことはわかっているが、近隣住民が不安を抱えているので、研究所は作ってほしくない。

実際には撤回が一番望ましい。武田側が余程態度と計画をかえれば、方向が出てくる様に思えるが。

撤回要求は他地域にいやな問題を押しつけることにつながる。具体的にシミュレーションを重ねて、モデルケースをつくるべき。時間はかかるだろうが、企業、行政、住民の対話による共存をはかるべき。

質問 3

武田問題対策連絡会の今後の活動についてのご意見

<回答者計54人の内>

これ以上武田との対話を繰り返しても無意味であり、連絡会は「進出断固反対」の意思を明確にすべきである。	----- 14	人
連絡会は、前回よりも、もっと大段的に署名活動（目標レベル--数万人）をはじめ、進出反対のための街頭活動を行うべきである。	----- 22	
連絡会は、訴訟に訴えても、進出計画を撤回させるべきである。	----- 11	
連絡会は、武田の会社としての姿勢を明確にするために、本プロジェクトについてのただの2人の代表権者すなわち会長、社長のいずれかの方から、本件の取り扱いについての姿勢を直接質す必要がある。	----- 15	
その他のご意見	----- 22	

若い世代に広まっていないようです。もっと身近に知ることができたらよいと思います。何か方法があれば、教えてください。

もっと危険性を住民に理解してもらう必要があるので、住民すべてにこの問題を知ってもらう活動を増し、進出断固反対に持っていくべき

危険性をアピールし住民に知ってもらうことが大切だ。どんな怖い作業が行われるか知らない人があまりにも多いから。撤回のための署名活動を!! 武田の協定違反の裏にもし市が関与しているのであれば、市長のリコール活動を!!

武田といくら話し合ってももうむだだ。大変なことですが、もっと市民に広がる運動(宣伝など)をしたいですね。

これ以上武田と話しあっても無駄だ。藤沢市に武田進出撤回方交渉すべき。藤沢市長は市民のことなどにも考えていない。それがすごくはらがたつ。

事ここにいたっては、訴訟にうったえよ。

もっとあちこちで目に見える宣伝行動をしたほうが良いと思います。住民で知らなすぎる人が多い。武田とは、進出断固反対の意思表示とともに、粘り強く対話を続けながら、まとめてほしい。二市だけの問題ではないので、マスコミ対策も。

武田問題について住民の受け止め方に違いがありすぎる。もっと住民の間で大段的に議論をするようになってほしい。協力したいが方法がわからない。

国や行政にたいしても住民の健康・生命を守る立場に立つよう責任を迫すべき。企業の立場、財政ありきではないようにさせること。

参加者の理解を助けるために、連絡会の小林さんが時々「タケダ vs 連絡会」の争点について簡単な説明をしてくださったのは、とてもよかったです。また、今回は、新井先生が適確なアドバイスをして下さったので、両者の水かけ論に終わらず非常によかったです。

武田発言「駅があればありがたい」、思い上がりもはなはだしい。

計画反対意見だけでなく、賛成する意見についても公平に公開してほしい。

活動の方向は。武田社だけの問題というものではないと感じます。認可への仕組みなど行政や法令のあり方へ活動の中心を移した方が筋が通るのではないですか。

連絡会の方の声が聞き取りにくかった。もっとマイクに口を近付けて話したほうが良かったですね。

今後の活動については、アンケートだけでなく意見交換会、討議の場を設け検討していく必要がある。

徹底抗戦ということだけでなくもう少し対話を続け、歩み寄る方向を考えてみては。技術的根拠をもつ代案を示すべき。もう少し冷静に。 同趣旨--他に2通

地域の発展には必要な施設と思うので、住民の安全を前面に出しつつ、交渉を重ねるのが良いのではないか。

先生どうしの訳の解釈の仕方がどうだとか、法律の解釈が間違っているとか、この場での議論にふさわしくない論争がほとんど、あまり意味のない会議だともわれる。もうすこし一般市民の理解できる話をしてほしい。今後は大々的な活動は必要ないと思う。各市民が興味を持って見守っていったら良いとおもう。

先方には数字的データをもとめ、こちらは印象論に終始する感じをうけ残念です。連絡会のパネラーの主張は、法律的、技術的にも必ずしも正しいとは思われず、まだ、武田側の回答の方が真っ当であるように感じました。

本アンケートの結果をもとに住民の意見と捉えないでほしい。なぜなら今日の出席者は反対の立場の関係者が多いと思われるから。

反対のための反対はやめよう。

パネラーが多すぎる。パネラーの態度は武田いじめにみえた。

連絡会は解散すべきと考える。

連絡会からの情報提供をお願いしたい。 新規希望者--10人

質問4 あなたのご住所は？

	人
鎌倉市	4
藤沢市	41
横浜市	1
その他	2
無記入	14
計	62